

# 社会

## に満足を。

これまでにないやり方で今を見直し、  
これまでより、もっと便利でもっと快適な、  
そして環境にもやさしい製品・サービスと  
仕組みを創造し、日々の暮らしに豊かさを、  
社会を構成する皆様に安心と安全、  
感動と満足をお届けします。

### マテリアリティ

ユニークなデザイン・発想による  
価値ある商品とサービスの創出 **P.23**

バリューチェーンの変革による  
新しいビジネスモデルの創造 **P.25**

DXを活用した新しい個客体験の提供 **P.26**

商品の品質向上・安全性確保 **P.27**

商品に関する情報開示 **P.29**

地域社会とのパートナーシップの促進 **P.30**

» Satisfaction for Society

### 関連するSDGs

12 つくる責任  
つかう責任



8 働きがいも  
経済成長も



9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう





PLUSグループの目指す姿

働く人に満足を。

社会に満足を。

地球環境に満足を。

強くしなやかな組織を築く。

コーポレート・ガバナンス  
会社情報

# “ Highlights in 2023 ”

2023年の主なトピックス

## グッド デザイン賞 受賞

オフィス家具、文具はさみの2製品が  
「2023年度グッドデザイン賞」  
を受賞しました。

» P.23

ベトナム学生対象  
奨学金制度

## 10年連続

ベトナムの大学生および小学生を  
対象とした奨学金制度を  
10年間継続しています。

» P.31

## 「2024年問題」に向けて 物流最適化

スマートデリバリーによる配送回数の削減や  
倉庫への自動搬送システムの導入により、  
物流の最適化を図っています。

» P.28

社会に満足を。

# ユニークなデザイン・発想による 価値ある商品とサービスの創出

新しい価値を創造するために、一人ひとりが「挑戦と改革」の意識を持って「ユニークネス」を追求していきます。常に生活者の視点に立ち、ユニークな発想で美しく心地よい商品やサービスをデザインし、お客様に新たな利便性・安全性や楽しさなどの価値を提供します。



## 1 顧客満足に繋がる環境配慮商品・サービスの展開

プラスグループは企業理念である「新しい価値で、新しい満足を。」を具現化し、日々の事業活動を通じて社会課題の解決に貢献していくことが使命だと考えています。私たちが大切にしていることは、お客様の満足です。何よりもお客様を重視し、常に「生活者視点」に立って物事を考え、モノづくりを行っています。さらに、商品・サービスの在り方を合理的かつシンプルに再構築する「社会最適」を追求し続けることで、原材料の調達から製造、販売、使用、廃棄、回収・リサイクルに至るあらゆるプロセス

で環境に順応したモノづくり・サービス開発を実現。お客様にも循環型社会の構築に参画いただくことで、社会全体での価値創出を推進しています。

また、私たちは、「自由と個を尊重」し、全社員が「デザインへのこだわり」を持つことで、当社グループ全体で豊かな創造力を生み出しています。これからも新しい価値を創造するために、一人ひとりが「挑戦と改革」の意識を持って「ユニークネス」を追求していきます。

### 早生広葉樹センダンを用いたオフィス家具 「Vicenda(ヴィチェンダ)」シリーズ



プラス株式会社  
ファニチャーカンパニー  
マーケティング本部  
商品開発部 商品開発一課  
岩本 壘

「ヴィチェンダ」はイタリア語で“お互い”。この家具はその名の通り、木の持つあたたかみと強度に優れるスチールを組み合わせ、モダンでシンプルな意匠と執務テーブルとしての実用性を兼ね備えています。財団法人日本産業デザイン振興会が主催する「2023年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

国内の森林にはCO<sub>2</sub>吸収量が減少した伐採期を迎えた針葉樹が多く、放置され続けた森林は公益的機能を十分に果たせず、台風や豪雨による土砂災害の危険性を高めると



右:テーブル、  
左:シェルフ

いう問題があります。そこで、プラスでは、カーボンニュートラルへの取り組みとして、放置されている針葉樹を適切に伐採し、CO<sub>2</sub>吸収量の高い若木の早生樹を植樹することでCO<sub>2</sub>吸収量を向上させ、伐採した国産木材を製品化する木材循環システムのプロジェクトを2022年1月に立ち上げました。

Vicendaシリーズは、天板表面にセンダン、天板芯材に国産スギ材を使用。センダンはCO<sub>2</sub>吸収能力が一般的な広葉樹よりも約3倍高く、伐採までに20~30年という非常に成長速度が早い特長を持つ国産早生広葉樹です。2022年より協同組合福岡・大川家具工業会 地域材開発部会の「センダンサイクル」(→P.45)に参画し、取り組みを進めています。今後も製品を通してCO<sub>2</sub>削減と持続可能な森林経営へ貢献していきます。

## 2 新たな働き方を支援する商品・サービスの開発

オフィス空間の提案は、その企業の事業内容はもちろん、業務の流れ、人の動きといった効率性だけでなく、企業ポリシーや社風、対外イメージやブランディングといった企業の姿、フィロソフィーの部分まで理解し、お客様の想う「姿」をオフィスという「カタチ」にするという壮大なプロジェクトです。

プラスグループは、お客様のことを深く理解し、お客様の期待を超える満足はどこにあるのかを常に考え、それを具現化する

るオフィス空間を提案します。その企業が発信するメッセージに共鳴し、社内外の人々が集い、出会うプラットフォームとして「引力のあるオフィス」を提案するため、オフィス空間の既成概念にとられない自由な発想と感性を大切にしています。

**オフィスに「引力」を。**  
人をひきつける 社会をひきつける 未来をひきよせる

### 最先端の触覚技術をオフィス家具に応用

プラス株式会社と東京大学発スタートアップの株式会社 commissure(コミシュア)は、2023年10月、最先端の触覚技術を活用した共同研究を開始しました。触覚技術とは、人間の手が物が触れた時の皮膚感覚を人工的に設計し再現する技術。言葉や映像では伝わりにくい肉體感覚を他者と共有できるようになるため、ヘルスケアやスポーツ等、さまざまな領域への応用

が期待されています。こうした最先端技術と、当社が培ってきたハード・ソフト両面における生産性向上のノウハウを掛け合わせることで、人の身体や動きに寄り添う新たな椅子型デバイスや、快適でスマートな仕事空間を生み出していきます。今後、変化し続けるワークスタイルに対して、「触覚」という観点から新たなソリューションを提供していきます。

### CREATORE with PLUS

プラス株式会社は、最新のオフィストレンドをご体感いただけるプラスのオフィス家具ショールーム「CREATORE with PLUS(クリアトール ウィズ プラス)」を運営しています。2020年2月に全国初となる店舗を広島にオープンし、同年12月に福岡、2022年1月に名古屋、11月にはファニチャーカンパニーの新拠点である恵比寿に4つ目となる「CREATORE with PLUS恵比寿/東京」を開設しました。ショールーム内には、家具や床・壁などの空間素材、インテリアアクセサリなどの展示だけでなく、それらのコーディネート事例や、VRを使ったオフィス空間の

仮想体験ができるラボスペースなどを設置。各エリアでお客様の理想に寄り添いながら幅広いお客様にオフィスづくりをトータルサポートしています。

また、定期的に外部講師・ゲストを招いたセミナーやアート展、ワークショップなどのイベントも開催し、幅広いお客様にご来場いただいています。今後も「CREATORE with PLUS」は、ショールームの枠を越えたオフィスづくりにおける「共創の場」を目指していきます。



CREATORE with PLUS(恵比寿)



CREATORE with PLUS(名古屋)



CREATORE with PLUS(福岡)



CREATORE with PLUS(広島)

## 3 新しい物流モデルの創造

プラス ロジスティクス株式会社では、ノンアセット型<sup>※</sup>の事業展開の中で、センター運営から配送までの物流スキームをお客様ごとにカスタマイズして構築し、最適な物流戦略をデザインしています。また、プラス カーゴサービス株式会社とタウンサービス株式会社は、全国各地の地場に強い配送会社とのネットワークを活かして、お客様の荷物特性に合わせた配送パートナーをご提案します。さらに、3社のシナジーを活かし

て、家具・家電の組立設置や医療を支える検体回収・輸送業務、プロ野球球団の用具配送など、付帯業務や専門性を伴う配送サービスを提供しています。「物流をデザインする物流設計企業」として、今後も固定観念にとられない発想でお客様ごとに最適な物流サービスを提案していきます。

※自社の設備(倉庫、車両など)を保有しないこと。

社会に満足を。

# バリューチェーンの変革による 新しいビジネスモデルの創造

バリューチェーン全体を見渡す視点で、自社のみならず社会全体の効率性も追求し、新たな価値をつくり出していきます。組織を越えて現状の課題を共有し、グループ各社が連携することで、これまでにない観点で社会課題への解決策や仕組みを提案し、社会最適を実現します。

## 1 スマート事業によるモノ・サービスの最適な提供

プラス株式会社 ジョイントテックスカンパニーは、全国の文具事務用品や教材等の販売店との協働により、カタログ通販に専任営業サポートが付いたデリバリーサービスとして、法人・官公庁向けの「スマートオフィス」、地方公共団体向けの「スマートガバメント」、学校・保育施設向けの「スマートスクール」、介護・福祉施設向けの「スマート介護」を展開しています。従来のオフィスにとどまらないさまざまな「職場」に必要なモノ・サービスをワンストップでご提供し、「職場」の調達業務効率化をサポートしています。

**smartoffice**

(2003年開始)

**smartgovernment**

(2022年開始)

**smartschool**

(1997年開始)

**スマート介護**

(2014年開始)

## 2 サービス拡充による物流業務の最適化

スマート事業は、さらなる利便性の向上を目指し進化しています。「スマートスクール」と「スマート介護」の2つの事業において、2023年8月より、会員が希望する配送曜日を設定できる機能を拡充し、配送回数の大幅削減も実現する発注サービス「スマートデリバリー」の提供を開始しました。

ここ数年、利用者から「人手が足りず、週に何度も荷受けをするのは大変」「翌日ではなく、希望日に届けてほしい」といった声が寄せられていました。また配送面でも近年、物流業務の効率化、CO<sub>2</sub>排出量の削減、ドライバーの労働時間を規制する「2024年問題」などへの対応が求められています。注文実績データに基づくと、利用者の25%が週に複数回注文していることから、この複数オーダーをまとめて、決まった曜日に配送を行うことで、利用者の荷受け負担を解消すると同時に、配送回数を最大約20%削減できることがわかりました(当社試算)。限りある資源の有効活用と配送時のCO<sub>2</sub>排出量削減により、環境・物流への負荷軽減と、物流効率の向上に繋がっています。

今後は、「スマートオフィス」「スマートガバメント」でも「スマートデリバリー」の導入を予定しています。会員へ一層のサービス拡充を進めると同時に、ドライバーの労働時間削減や物流体制の最適化に貢献し、社会問題の解決の一助となることを目指します。



# DXを活用した 新しい個客体験の提供

私たちのお客様は「顧客」ではなく、生活者一人ひとり(個人)である個客です。個客の「快適体験」を届けるため、ビジネスモデルそのものをデジタルへ変換し、まったく新しい価値を創出することで、ワクワクするような体験を創造・提供していきます。



## 1 次世代コアビジネス創造プログラムの推進

プラス株式会社では、2021年4月より、社長直轄のデジタルトランスフォーメーションへの取り組みとして「みんなのDXプロジェクト」を立ち上げました。会社のカルチャーや組織、ビジネスモデル、社員の意識や働き方、事業、業務内容、基幹システム等に至るまで“聖域”を設けず変革していく未来戦略です。並行して、2025年をターゲットにした中期経営計画の柱となる具体的

な事業の方向性「VISION 5Ds」も決めました。また、「みんなのDXプロジェクト」の一環として、新規事業案を募集して参加者を選抜し、具現化に向け検討を進める「次世代コアビジネス創造プログラム」を開催しています。現在、新しい個客体験の創造に向けて、スプリント3を推進中です。

### ■ オフィス向けフローズンフード定額利用サービス「タベルル」

次世代コアビジネス創造プログラムから事業化した「タベルル」は、“健康”や“ご当地”をコンセプトに安心・安全でカラダに良い食べものを本格的なテイストで冷凍した状態でお届けします。職場で手軽に美味しい食べものを味わうことができる環境を提供し、社内交流のきっかけも生み出す新サービス「タベルル」を通して、ワーカーの満足度を高め、ハッピーな職場づくりをサポートしていきます。

#### 「食」から職場を明るくするアイデアを形に。

タベルル株式会社 代表取締役社長 奥田 浩士

周りにお店がない・時間がないなど、オフィスでの食事は困りごとの一つ。職場での食事環境をより良くすれば、働く人をよりハッピーにでき、コミュニケーションのきっかけにもなると考えました。クオリティや味はもちろん、ご当地グルメなどユニークなラインナップにもこだわっており、最終的には購買データから一人ひとりの好みに合わせた商品をお届けできるサービスを目指します。本プログラムには、各々が新しいアイデアを出し合い、良さを認める文化が根付いています。今回の事業化を通じて、「チャレンジを形にできるんだ」と良い刺激になったと思います。



## 2 DXによる職場の快適・満足度の向上

### ■ センシングや予約システムを活用したオフィス環境の見える化

プラス株式会社 ファニチャーカンパニーは、オフィスにおける快適性・安全性や社員間のコミュニケーションを、さまざまなデータを用いて“見える化”しています。CO<sub>2</sub>・温湿度・照度のセンシングや座席管理システム(Suway<sup>®</sup>)、AIカメラに加え、集中度・疲労度を脳波・脈波から測定するほか、産学連携によるコミュニケーション環境のにぎわいの可視化研究、ロボット活用などの実証実験を行っています。こうした社内実践から得たオ

フィス環境データの評価分析結果に基づき、継続的なオフィス改善をソリューション化するとともに、お客様への高品質な移転リニューアル提案に活用していきます。

※ デスクをIoT化することで、働く場所を予約席にして利用できる座席管理システム。



座席管理システム  
**Suway**  
スワイ

社会に満足を。

# 商品の品質向上・ 安全性確保

高品質で安全性の高い商品・サービスを提供することはもとより、事故・故障・不良品の発生の未然防止に努め、より高い安全と安心をお客様へお届けしてまいります。



## 1 品質基準の確立と製品安全性の確保

プラス株式会社 前橋工場では生産量だけではなく、品質にも最善を尽くしています。カスタムオーダーに対応する製造ラインでは、お客様の想いをカタチにするため、高度な加工が可能な機械を導入しています。一方で、高品質の製品をお届けするために最も重要なのは人の技術力だと考えています。そのため、国や地方自治体公認の技能検定に合格した社員を優遇する制度を導入しています。また、前橋工場では、「一人ひとりの安全意識の向上」に力を入れており、教育の一環として社員同士の危険予知活動や外部講習の受講を推進しています。

危険予知活動は職場で起こり得る災害を未然に防止するための活動です。小集団活動の中で「どうしたら未然に災害を防ぐことができるのか」の意見交換や、それぞれが気付いたことを共有し合い、日頃から安全意識の向上を図っています。さらに、安全管理に関わる外部講習を受講しています。受講者は各現場にて講習で学んだ知識を工程内の社員に伝えます。これらにより安全に対する意識を高め、個人としての作業の取り組み方や安全に対する意識の変化に繋げています。

### ●前橋工場 行動指針

- 一人ひとりがユーザー目線をもって製品を検証する
- 製品価値はお客様が決める
- 安全性はプラスが担う
- 設計、製造、調達、すべてにコスト意識を
- 五感で品質を見極め、妥協のないモノづくりを
- 常に一步先の未来を見据えて、変化し続けよう

### ●品質・安全確保に向けた前橋工場の取り組み

- 新卒、中途社員入社時の安全教育
- 製造部門配属時の各課安全教育
- 外部での危険予知トレーニング受講促進(工程責任者、技術部門の間接社員対象)
- 人命救助の教育訓練の定期的な実施
- フォークリフト外部安全講習

## 2 高品質で安全性の高い物流サービスを構築

プラス ロジスティクス株式会社は、常にお客様の最前線に位置する「物流パートナー」として「好感度No.1」をモットーに、プラスグループのみならず幅広い業種・業態のお客様に最適で高品質なサービスの提供を目指しています。例えば家具をお届けするだけでなく、あわせて内装工事・家具施工にも対応できる物流システムを構築しており、お客様のニーズに合わせワンストップですべてをお任せいただけます。

また、プラス カーゴサービス株式会社は、「届けるを、もっと自由に、新しく。」というテーマのもと、お客様ごとのニーズに合った配送方法・配送ルートのカスタマイズすることで、オンリーワンの物流サービスを展開しています。

さらにプラス株式会社 前橋工場では、JIS(日本産業規格)に準じた独自の基準で品質を管理するとともに、物流品質の向上

のため、全国の主要拠点で物流・施工の協力会社様と家具勉強会を実施。家具の歴史や製品知識に加え、配送・施工時の注意点を共有しています。今後も協力会社の皆様とともに取り組んでいきます。



家具勉強会の様子

# 3 パートナー企業と歩む品質向上の取り組み

## グループ連携で目指す品質向上活動

プラス ロジスティクス株式会社は、物流センター稼働後も荷主企業様との定例会を設け、KPIに沿って定期的に相互チェックを行い、継続的に物流改善を図っています。また、配送や組み立て設置を行う配送パートナー企業様に対しては、お客様と直に接するドライバーの方々を対象に講習会を開催し、パートナーごとに異なる改善課題の共有・意見交換を定期的に行っています。物流品質の向上を目的とするだけでなく、現

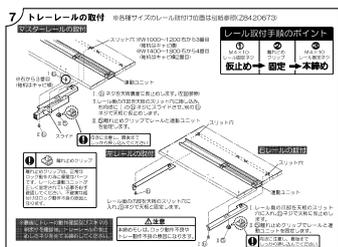
場で起きている事象や声を吸い上げ、荷主企業へのフィードバックを実施することでサプライチェーン全体での物流課題解決を目指しています。

その結果として、お取引先様およびお届け先のお客様にご満足いただける高い物流品質を実現できるよう、本部と現場が一丸となって取り組んでいます。

### プラス株式会社 ファニチャーカンパニー×プラス ロジスティクス株式会社の取り組み

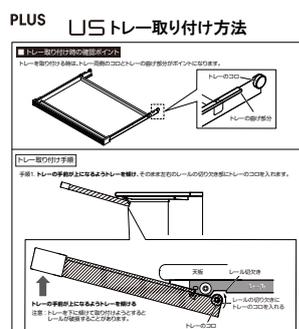
プラス株式会社とプラス ロジスティクス株式会社では、家具の組み立て設置時に作業ミスが起こらないよう、実際に現場で起きている事象を活かして常にアップデートを図っています。例えば、家具設計者が作成した組立説明書をそのまま使い続けるのではなく、発生してしまったミスに対して回避するための手順を追加するなど、都度、内容を見直しています。また、わかりづらいパーツには梱包段階で判別用シールを貼るなど、企画製造側・物流側の双方で意見を出し合い、間違いを事前に防ぐために工夫しています。

#### ■従来の説明書



間違いやすいポイントを解説する手順書を追加

#### ■手順書を追加



パーツの前後を示す判別用シールを貼付

## 物流の効率化で目指す品質向上

プラス ロジスティクス株式会社では、物流業界の慢性的な人手不足やドライバーの労働時間を規制する「2024年問題」への対応を喫緊の課題として捉え、物流業務の効率化に取り組んでいます。これを実現する手段の一つとして倉庫の自動化を推進しており、既存のソリューション導入だけでなく、パートナー企業様と新たなシステム開発を行うなど、既成概念にとらわれず荷主様ごとに適したシステムやマテハン<sup>※</sup>を設計・ご提案しています。

自動化された物流センターでは、作業負担の軽減による省人・省力化や生産性の向上、ピッキングミスの軽減による出荷精度・物流品質の向上、保管効率の改善といった効果が得られています。引き続き、物流の課題を解決するとともに物流の最適化を推進していきます。

※マテリアルハンドリング(工場や倉庫などで材料や製品を運搬すること)の略称で、製造や物流の現場における物品の移動や保管業務に関わる機器、および仕組み全般のことを指します。

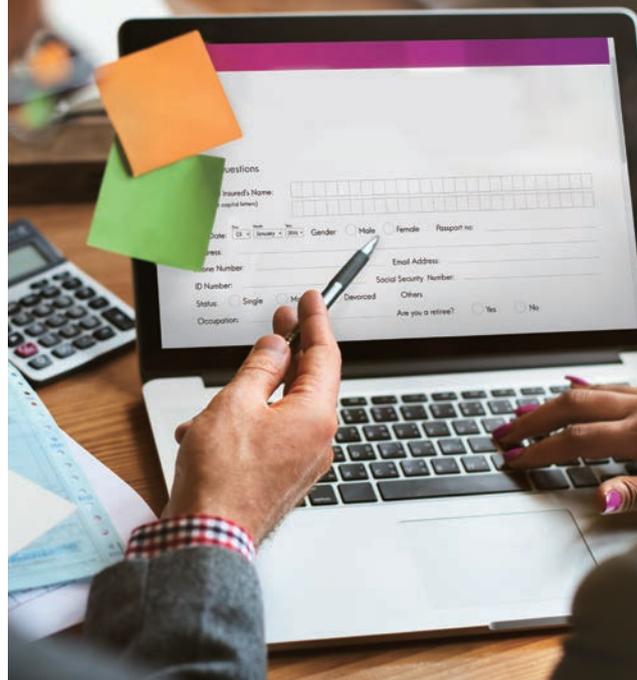


ユアサ商事株式会社様、株式会社Phoxter様とプラス ロジスティクス株式会社の3社で開発した自動搬送システム「ツインピック」。高層棚用と低層棚用2種のロボットを同時制御するユニークで革新的なシステムで、国内初事例・実用新案を取得しており、物流業務を受託している「ユアサ商事 関東物流センター」に導入しました。

社会に満足を。

# 商品に関する 情報開示

商品に関する情報開示・情報提供もサービスの一環と捉え、基本的な商品情報に加え、環境面や正しい使い方など、お客様が求めている情報を適切に提供します。必要な時に見やすく、すぐに入手できるように配慮しながら、快適で楽しく、安心して商品が使用できる環境を整えます。



## 1 適切で誠実な情報開示

プラスグループは、お客様の安全・安心を最優先に考えています。商品仕様をはじめ、品質や環境に関する情報や使用方法等について、お客様に誤解を与えることのない正確でわかりやすい表示・表現に努めるとともに、お客様が適切な商品・サービスを選択できるようWebサイトや商品カタログに公開しています。

また、商品の欠陥やその使用・利用に伴う重大事故が発生し

た場合、法に則って所管官庁に速やかに報告し、お客様にできる限り早くお知らせするため、新聞社告、Webサイト等を通じて事故情報を公開しています。

▶「プラスグループ各社商品の回収・交換のお知らせ」一覧  
<https://www.plus.co.jp/info/>

## 2 Webサイトにおける製品情報提供の高度化

2021年、ページをめくる従来型のデジタルブックに代わり、スマートフォンほかさまざまなデバイスで見やすいWebサイト「PLUS WEB CATALOG」へリニューアル。2022年には、製品をより身近に感じていただき、理解を深めていただけるよう「動くカタログ」を公開しました。

「PLUS WEB CATALOG」は、フリーワードや各種コードをはじめ、製品群、カテゴリ、使用する空間等でも検索できるのももちろん、取扱説明書や単体カタログ、冊子版カタログのPDFダウンロードにも対応しています。

「動くカタログ」は、製品の紹介動画に加え、任意の角度から製品を確認できる「3D View」や、一部のチェア製品では水平回転させて背面まで確認できる「Rotated View」といったリッチコンテンツをご覧いただけます。

今後も製品を深く理解していただくため、情報の充実と機能拡充を進めていきます。

▶「PLUS WEB CATALOG」  
<https://itemplus.plus.co.jp/>  
▶「動くカタログ」  
[https://www.plus.co.jp/plus\\_tv/](https://www.plus.co.jp/plus_tv/)



「PLUS WEB CATALOG 2024」(2024年4月時点)



「動くカタログ」(2024年4月時点)

# 地域社会との パートナーシップの促進

社会貢献と環境保護の観点から地域社会とのパートナーシップを重視しています。私たちだけで解決できない社会課題があることを自覚し、地域住民の方々や自治体・地元企業などと協働することで地域振興に向けた施策にも取り組んでいきます。



## 1 パートナーとの協業による地域経済の活性化

### ■ 人や街と繋がり、共創していく「PLUS DESIGN CROSS」

2022年12月、プラス株式会社 ファニチャーカンパニーは、オフィス家具事業の本部拠点を恵比寿ガーデンプレイス(東京都渋谷区)センタープラザ2Fへ移転し、「PLUS DESIGN CROSS」(→P.17)をオープンしました。新型コロナウイルス感染症をきっかけに生活様式が変わり、家とオフィス、生活と仕事の境界が曖昧になってきた中、オフィスの存在意義が問われています。「PLUS DESIGN CROSS」は、単純に業務を行う場ではなく社内外のあらゆるステークホルダーと積極的に繋がりを持ち、企業活動と社会活動の拠点となる新しいオフィスの形として、多様なパートナーとの共創活動を目指しています。

オフィス内は恵比寿ガーデンプレイスを象徴するアーチ形状をデザインモチーフとして採用することで、街との繋がり・調和をイメージしています。共創活動の場を表現するエリアとして設けたオフィス中央の「SALON (Creation space)」には、森をイメージしながら日本の各地で育った多品種の木々を配置。多様なアイデアを育み、新たな価値創造を目指す共

創活動の場を、心地よく開放感あふれる空間に仕上げました。「SALON」では今後、恵比寿に集まるさまざまな共創パートナーとともに、イベントやプロジェクトを通して新しい価値を創造していきます。

また、恵比寿ガーデンプレイス内には「PLUS DESIGN CROSS」のほか、「はたらくをたのしく」をテーマにしたワーク&ライフスタイルショップ「ouchi GARAGE(おうちガラージ)」や、ワンランク上の在宅ワークスペースづくりのヒントが見つかるワークスタイルショップ&ショールーム「CREATORE with PLUS」(→P.24)など、一般の方も気軽に足を運んでいただき、実際の製品・サービスを体感いただける店舗を設けています。

プラスグループはこれからも、多種多様な人材、文化、生活、ビジネスが集積する恵比寿という街を舞台に、さまざまな価値観に触れながら社会課題解決へ取り組み、また地域とのコミュニケーションを深めることで、恵比寿ならではの共創活動を推進していきます。

#### 「木育」をテーマにした親子ワークショップを通じて、 サステナブルな森林活用を考える

2023年9月30日～10月1日に開催された「恵比寿文化祭2023」※に出展し、「木育(もくいく)」をテーマとした親子イベント「恵比寿の森で遊ぼう、木の恵みを体感!ワークショップ」を開催しました。本イベントでは、木育活動を全国で展開する株式会社Tree to Greenとコラボレーションし、実際に木に触れ、自然と仲良く共存することの大切さを楽しむことができる親子ワークショップを企画しました。期間中は、SALONを「恵比寿の森」と名付けて一般開放し、「森のクイズラリー」や国産木材の「センダン」「くり材」を使ったフォトフレームづくり、スプーン・バターナイフづくりなどのワークショップを通じて、参加者の皆様にサステナブルな森林活用について体感いただきました。



※サッポロ不動産開発株式会社が主催する、「恵比寿のまちに暮らす人、働く人、遊びに来る人。普段はなかなか出会う事のないみんなが集まり、まちの魅力やカルチャーを賑やかに発信したい」という想いから始まった街の文化祭。13回目を迎える2023年は、恵比寿にゆかりのある72の企業・団体が参加しました。

## 2 「教育支援」「環境保全」「文化・地域交流」による地域貢献活動の推進

### ベトナム学生対象の奨学金制度

プラス株式会社は1995年に業界に先駆けてベトナムに事業展開し、全額出資のベトナム現地法人PLUS VIETNAM INDUSTRIAL CO., LTD.(ベトナム:ドンナイ省、以下「PVI」)を設立しました。現在では2,000名を超える現地社員とともに、成長するステーションリー事業を製造面で支えています。

その長年のご支援に対する感謝を込めて、ベトナムの若い優秀な人材の輩出に少しでもお役に立ちたいとの思いから、「日



#### 「PLUS・AGU ベトナムスカラシップ」奨学金授与式

2023年度は、青山学院大学に在学中の留学生4名を奨学生として決定しました。2024年1月31日、本社・虎ノ門オフィスにて奨学金授与式を行い、証書を授与しました。当日は奨学生4名より、資料を交え、とても流暢な日本語で日本での生活についてスピーチしていただきました。

- 対象人数:2023年度 4名
- 対象者:青山学院大学ベトナム人留学生
- 支給内容:750,000円/1名
- 支給開始:2023年10月

越友好40周年」の節目の年である2013年、ベトナムの大学生および小学生を対象とした奨学金制度を設立しました。本制度は、留学生の受け入れに熱心に取り組まれている青山学院大学との提携により、同学のベトナム人留学生を支援する「PLUS・AGU ベトナムスカラシップ」と、PVIを窓口にもベトナム国内の小学生を支援する「PLUS Vietnam Scholarship」の2つのプログラムを実施しています。



#### 「PLUS Vietnam Scholarship」奨学金授与式

2023年度も100名の奨学生を決定し、2023年8月16日にDinh Quan(ディンクアン)県、24日にTan Phu(タンフー)県にて奨学金授与式を行いました。授与式では子どもたちの代表からお礼のスピーチに加え歌や踊りも披露されました。その様子は現地の新聞やテレビでも取り上げられました。

- 対象人数:2023年度 100名
- 対象者:ドンナイ省の小学生
- ※ ドンナイ省内の2県を選定し、教育推進協会より対象県内の小学校へ奨学金制度について通知。PVIで制定した本制度運用ルールに基づき、授与対象奨学生を選定し、教育推進協会の協力のもと、奨学金授与式を開催しています。
- 支給内容:200万ドン/1名(日本円換算:約10,000円)、プラス文房具ギフトセット、お菓子
- 支給開始:2023年8月

### 自然探求プログラム「WONDER NATURE LABO」への協賛

2023年9月・11月、当社の産業複合施設「プラスランド」(群馬県前橋市)内の「オーベルジュ 音羽倶楽部(おとわくらぶ)」にて、東邦レオ株式会社が主催する自然探求プログラム「WONDER NATURE LABO(ワンダーネイチャーラボ)」が開催されました。「WONDER NATURE LABO」は主に小学生を対象としており、前橋のあらゆる環境を学びのための大きなフィールドとし、物事を多角的・多面的に捉え探求することを習慣化して非認知能力を育むプログラムです。前橋市にオフィス家具の基幹生産拠点や研修施設を持つ当社も、本プログラムの趣旨に賛同し、会場提供という形で協賛しました。

9月の開催では、「昆虫や植物の超マイクロ観察でこれまで知らなかった世界を体験」というテーマのもと、音羽倶楽部にて昆虫や動物、植物の採集および撮影を行いました。また11月の開催では、「五感を使って森で遊ぼう!感性を育てる森林浴プログラム」として、土や植物の匂い、手触り、色、ヒカリなど自然を感じながら音羽倶楽部の森林を散策しました。



「WONDER NATURE LABO」の様子

## 「ドナルド・マクドナルド・ハウス」へ文具を寄贈

プラス株式会社は、2023年11月、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンが運営する病気の子どもとご家族が利用できる滞施設「ドナルド・マクドナルド・ハウス」に、「第16回キッズデザイン賞(2022年)」を受賞した「ハシレ!エンピツケズリ!」を寄贈しました。この商品は、鉛筆を差し込み、腕、肩、体重を使って車を動かすだけで、楽しく軽く鉛筆を削ることができる文具で、当社の製品を通じて病気と闘う子どもたちとご家族に少しでも笑顔になっていただきたいという願いを込めて寄贈しました。子どもたちの未来を応援し、温かい地域社会を築いていくため、引き続き社会貢献活動に取り組んでいきます。



ドナルド・マクドナルド・ハウス ロゴ



ハシレ!エンピツケズリ!(ブルー)

## 「プラス クリーンフェス 2023」の実施

「社会・環境への貢献」「周辺地域の美化」「社員のサステナビリティへの参加意識向上」を目的に、2015年3月より、本社・虎ノ門オフィス周辺の清掃活動をスタートしました。また、群馬県前橋市にあるプラスランド敷地内を流れる神沢川や工場外周の清掃活動「神沢川クリーン計画」も、前橋工場スタッフを中心に1993年より毎年実施しています。

2016年にこれらの活動を統合、2017年にプラスグループの清

掃活動「プラス クリーンフェス」に名称変更するとともに、国内拠点だけでなく海外拠点にも規模を拡大して活動を開始しました。

2023年度は4年ぶりに参加人数の制限を解除し、国内グループ各社32か所、海外グループ各社6か所(中国2拠点、ベトナム2拠点、台湾、ドイツ)計38か所、約700名にて実施しました。また、従来の清掃活動に加えて、他社との協働実施や、前橋工場では特定外来生物の駆除作業等、新しい取り組みを行いました。



国内外で行われた「プラス クリーンフェス 2023」



## 企業訪問学習・工場見学の受け入れ

プラス株式会社は、次世代の子どもたちのキャリア教育を支援するため、企業訪問や工場見学の受け入れを行っています。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2022年はオンラインで企業訪問学習を体験いただける「オンライン企業訪問」を実施していましたが、2023年は、3年ぶりに本社・虎ノ門オフィス、恵比寿オフィスにてリアル開催を行い、計10校、84名にご参

加いただきました。企業訪問では、オフィス見学、会社・事業説明、製品開発担当者へのインタビューおよび製品開発に関する参加者へのヒアリングなどを実施しています。

加えて、オフィス家具を製造する前橋工場でも、地域の学校の工場見学を受け入れています。2023年度は計6校、19名にオフィス家具の製造工程をご見学いただきました。



本社・虎ノ門オフィスでの企業訪問の様子

